

# みなとっ子（1月）

大湊小学校だより

令和3年1月8日発行

家庭数

## ー 大寒の 大々とした 月よかなー 与謝蕪村

新年、明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお祈りいたします。本日より、子どもたちの元気な声が校舎の中に戻り、学校は活気にあふれています。1月から3月は、1年間の締めくくりをする大切な学期です。教職員一同、子どもたちの更なる成長に向けて、日々の学校生活の充実に取り組んでまいります。保護者の皆様、地域・関係者の皆様には昨年に引き続き、本校の教育活動についてのご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



### 1月の主な行事予定

予定は変更もあります。ご了承下さい。(詳細は学級だより等参照)

日	曜	行事等
1	金	元旦
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	
6	水	
7	木	
8	金	集団登校 始業式 給食開始
9	土	
10	日	
11	月	成人の日
12	火	委員会
13	水	
14	木	PTA役員会⑥
15	金	AM: スクールカウンセラー来校日
16	土	
17	日	
18	月	集団登校
19	火	定時退校日
20	水	集団登校 交通安全指導 口座引き落とし①
21	木	
22	金	火災訓練
23	土	
24	日	
25	月	集団登校・集会
26	火	代表委員会
27	水	
28	木	口座引き落とし②
29	金	パワーアップ事業
30	土	
31	日	

### 【2月の主な日程】

- ・4日(木)スクールカウンセラー来校日
- ・5日(金)全校遊び
- ・12日(金)園児一日体験入学  
スクールカウンセラー来校日
- ・13日(土)参観日・大縄跳び大会
- ・18日(木)学校支援委員会
- ・19日(金)口座引落①
- ・22日(月)交通安全日
- ・26日(金)口座引落②  
スクールカウンセラー来校日



### 日本のお正月の歴史をみる ～おせち料理～

今年はコロナウィルスの影響でお正月の過ごし方もずいぶん変わったと思いますが、お正月のおせち料理の歴史について紹介します。歴史をたどれば平安時代までさかのぼります。もともと、季節の変わり目の節句(現在でいう3月の桃の節句や5月の端午の節句など5つの節句)に行われていた「節会(せちえ)」という行事で、神様にお供えしていた「御節供(おせちく)」という料理が由来だそうです。その節句行事の中でも、特にお正月は重要であり、盛大に行われたことから、お正月の料理＝おせち料理というイメージが根付いたようです。江戸時代には「食積(くいづみ)」という食べないおせちもありました。それは、あくまで神様のお供え物として、お正月に神棚に備えるもので、食べることを前提に作られていなかったようです。ちなみにお雑煮は、神様のお供え物を下げて(お供えを済ませて)から、改めて煮物にして食べたものが発祥のようです。これまで、お正月になくはならない存在で、家庭や地方で味も異なる日本の文化の一つでしたが、最近はおせち料理をわざわざ家で作ることも少なくなったようで少し寂しい気がします。

### 第5回ノート大賞おめでとうございます。

今年も、家庭学習で自主的に学んだことをまとめたノートの優秀者を選んで表彰しています。授業だけではなく、自分で考えた学習方法やノートのまとめ方を競うこのコンクールで、毎回工夫を凝らしたノートを見せてもらいますが、中学校に入れば、漢字ドリルや算数ドリルはありません。自分で考え、自分で学習する内容を決めてノートにまとめることが、本当の学力につながります。ご家庭でも、子どもたちのノートづくりにご支援、ご協力をよろしくお祈りいたします。



### ざんねんな生き物辞典 Part 4

#### 【ユノハナガニは温泉が好きだが熱いのは苦手】

ユノハナガニは300℃以上の熱水がふき出す、海底火山の近くにいらしています。そう聞くと、さぞ熱に強い体をもっているのだらうと思いますが、実際はあたたかいお湯につかると死にます。深海の水は約2℃と氷のように冷たいので、ふき出した熱水はすぐに冷やされます。かれらは10～20℃の少しだけあたたかい絶妙な距離をうろうろしているのです。ゆでガニになるリスクを抱えても、そこから離れられないのは、海底火山の近くにいるチューブワームをエサにするためです。きっと食事のたびに寿命が縮む思いでしょう。(ユノハナガニのプロフィール)・生息地：西太平洋の深海底・大きさ：こうらの幅4.5cm・特徴：深海にすむため、目は退化してくぼんでいる。



#### 【ハシビロコウはひたすら待ちの姿勢】

大型の鳥のハシビロコウは、とにかく動かないことで有名です。すばやく動いて虫や魚をつかまえるのではなく、動かないことでまわりの風景にとけこんで、すきをねらうという戦法をとります。ハイギョという大型の魚を好んで食べますが、その狩りの方法は「魚が水面に顔を出すまでひたすら待つ」というもの。大雨がふっても、水面をみつめてじっとしています。まるで「鳴かぬなら鳴くまで待とうホトトギス」を座右のめいとしているかのようです。えものの消化にも時間がかかるため、かれらは魚をつかまえた後も、やっぱりじっとしています。

(ハシビロコウのプロフィール)・生息地：アフリカ中東部の水辺・大きさ：全長1.5m ※野市動物園にもいます。

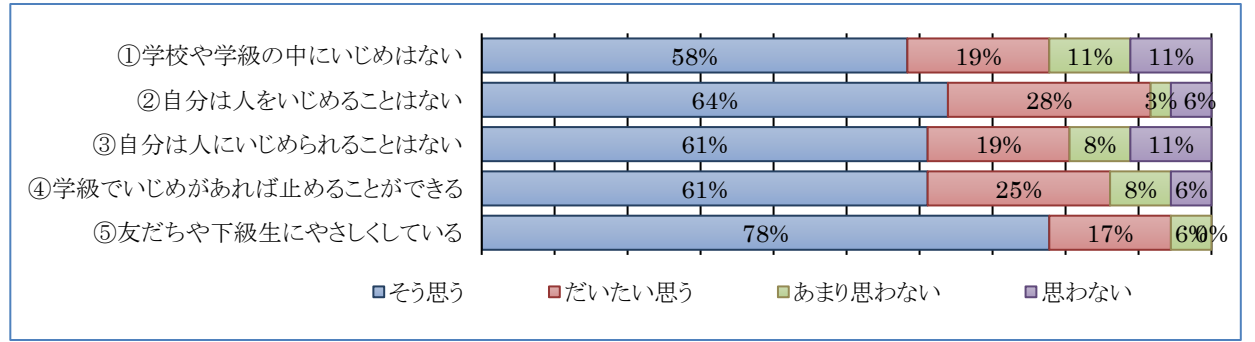


## 児童アンケートの結果について（令和2年12月実施）

今年度も児童の学校生活を把握し、より良い教育活動に取り組むことができるよう、児童アンケートを実施しました。数値だけをもって全てを判断するわけではあませんが「そう思う」・「だいたい思う」の割合（肯定的評価率）は、全体的に良好な状況でした。しかし、課題もありますので、これからの取り組みの充実を図ります。アンケートの6項目について、若干の考察をしていますのでご覧いただき、お気づきの点は学校までご意見をお寄せください。

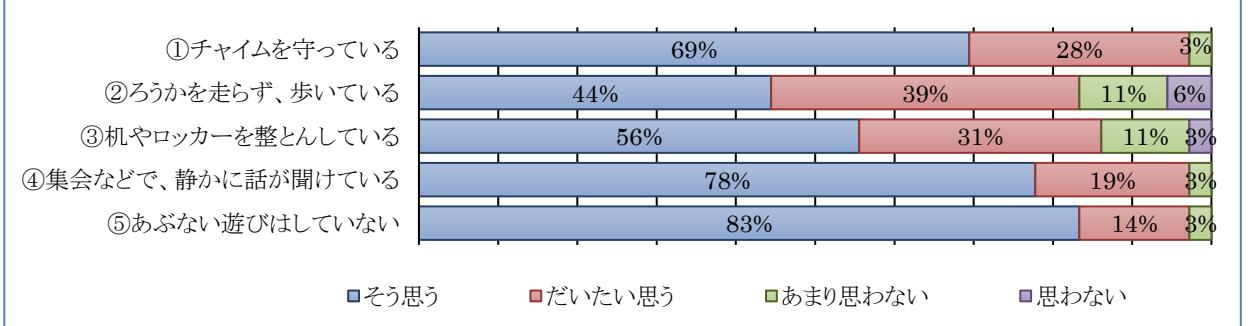
### 『いじめ』

①「いじめはない」の肯定的評価率78%、②「自分は人をいじめることはない」の肯定的評価率81%、③「人にいじめられることはない」の肯定的評価率81%、④「いじめがあれば止めることができる」肯定的評価率86%です。22%の児童が「いじめはないと思わない」「あまり思わない」と捉えていること、「いじめ」を受けたと感じている児童が19%おり、昨年より増加傾向でした。今後も、全教員で個別の相談やいじめの無い学級づくりに努めていきます。



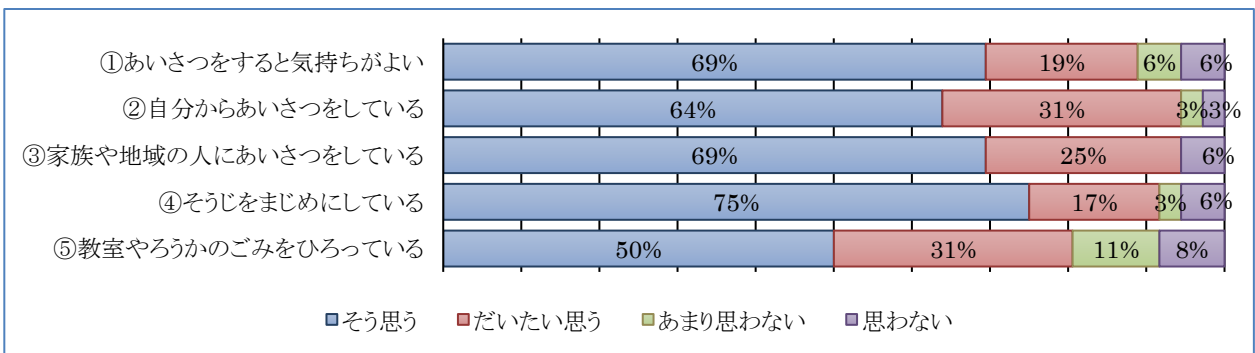
### 『ルールやきまり』

⑤「危ない遊びをしていない」の肯定的評価率97%と昨年より改善傾向にあります。ご家庭や地域での見守り、お声がけをお願いします。また、②「ろうかを歩く」③「整理・整頓」ができていない児童には、日頃からの声かえを大事にしながら、地道な指導に努めていきます。④の話を行くことに関しては、集会等ではよく集中して話が聞かれています。



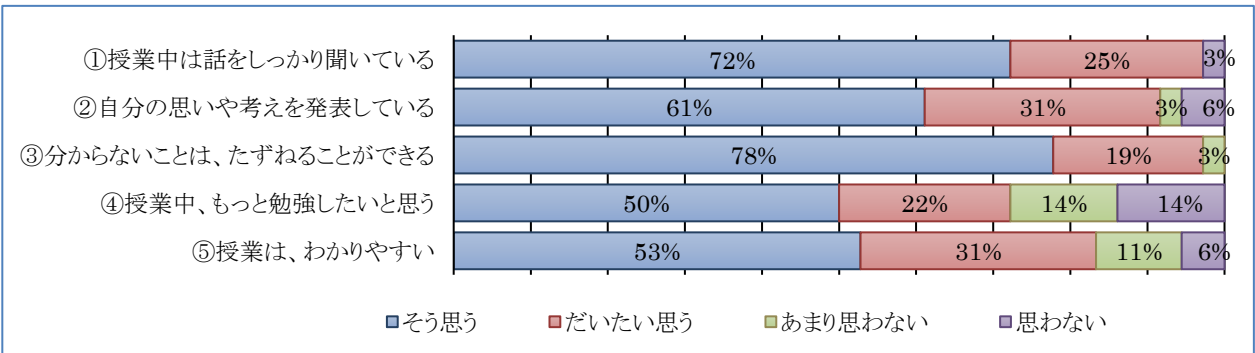
### 『あいさつ・そうじ』

①朝、放課後に職員室に来て、元気よく挨拶する児童が多くいます。④「そうじをまじめにしている」は92%で肯定的評価となっています。学校では、掃除への評価活動を通じて、子どもたちの「やる気」を育てています。ご家庭でも、進んで掃除をする習慣や、お手伝いの習慣をつけていただければと思います。⑤教室やろうかのごみを自分から進んでひろう。の項目で少し課題がありましたので、学校・教室の環境整備に対する子どもたちの意識を育てていきたいと思っています。



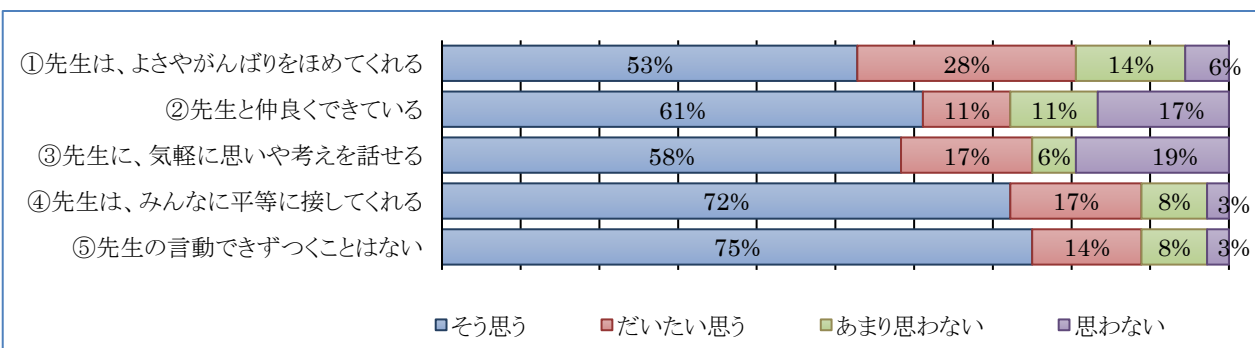
### 『授業』

①「授業中は話をしっかり聞いている」児童は多いが、④「もっと勉強したい」の項目で、あまり思わない。思わない。と回答している児童が28%いました。今後、学習意欲を高めるために、授業等の指導方法の工夫や改善に努めます。また、⑤「授業は、わかりやすい」と感じる児童の割合を上げていきたいと思っています。日々の家庭学習の習慣も必要ですので、ご家庭での支援のご協力をお願いします。



### 『先生』

①「先生は、よさやがんばりをほめてくれる」で、あまり思わない、思わないと答えた児童は10%います。ほめること、評価することを大切に、児童のやる気を育てることを大切に取組みます。また②「先生と仲良くできている」③「先生に、気軽に思いや考えを話せる」で、あまり思わない、思わないと答えた児童が25%います。日頃からのコミュニケーションを大切に、休み時間に一緒に遊ぶことなどをしながら児童の気持ちに寄り添えるよう取組を進めます。



### 『自尊感情』（自分を大切に思う気持ち）

子どもたちの自分自身に対するアンケートを見ると、⑨自分は短所より長所が多い。⑧自分のことが好きだ。⑤自分はコツコツ努力する。⑫自信を持っているいろいろなことができる。等の項目で、否定的な回答をした児童がいました。学校では、いろいろな体験を通して、自分のことに自信を持たせたり、最後まで物事をやり遂げる気持ちを育てていきたいと考えています。ご家庭でも、子どもの良さや、頑張りをお認めることで、何事にも積極的に挑戦していけるよう励ましの声掛けをよろしくお願いします。

